

### 3 - 8 伊豆東部地方の地殻変動

#### Crustal Deformation in the Eastern Izu District

国土地理院地殻調査部

Crustal Dynamics Department, Geographical Survey Institute

伊豆東部地方の地殻変動については、1974年の伊豆半島沖地震後数多く報告されている。特に1976年の冷川峠付近の異常隆起、川奈崎付近の微小群発地震の発生により、地殻変動の様相を把握するための水準測量、辺長測量を国土地理院では短周期に実施しているため、その後の同地域の地殻変動について報告する。

#### I 上下変動

第1図および第2図は内浦験潮場から修善寺町を経てそれぞれ河津町、伊東験潮場に至る路線の最近1年間の変動である。河津町に至る路線には大きな変化はないが、伊東験潮場付近は約10cmの隆起をしている。

第3図は伊東・油壺両験潮場間の月平均潮位と潮位差を示す。この結果から伊東験潮場付近はゆるやかではあるが依然として隆起の傾向を示している。

第4図は内浦験潮場を基準とした伊東験潮場付近の最近1年間の上下変動量を示した。

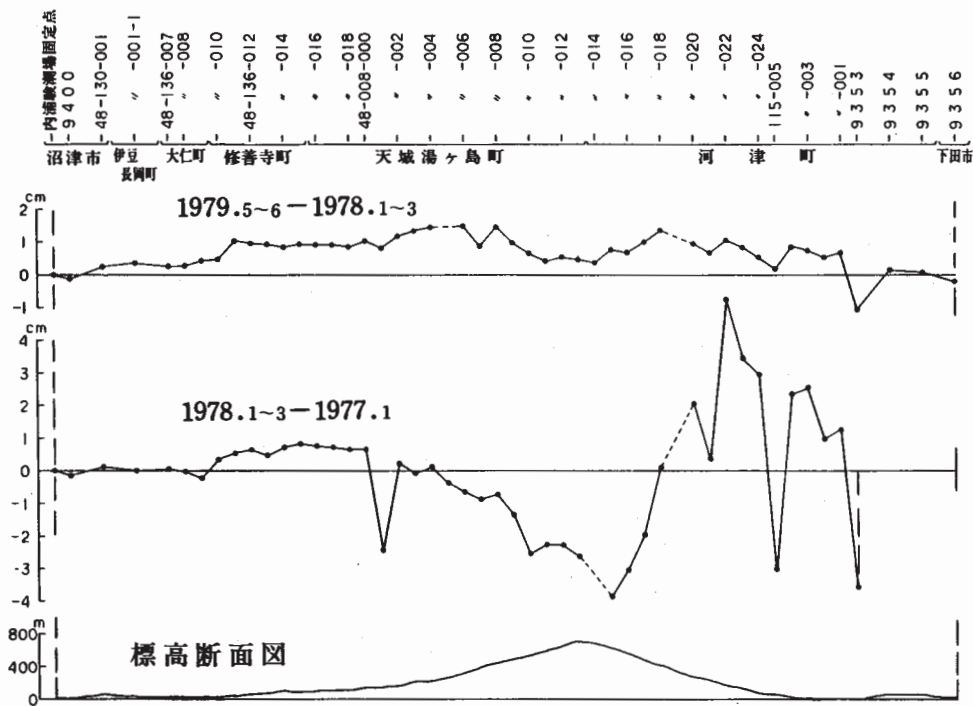
第5図は内浦験潮場を基準とした1967年から12年間の伊豆半島中東部の上下変動量を示す。この結果から20cmを超える異常隆起地域は冷川峠のほかに伊東験潮場付近にもあり、隆起の中心は海域と予想される。

第6、第7、第8図は真鶴岬および初島から周辺各三角点までの距離測定結果を示す。この結果から初島一徳永村・小室山間に測定誤差を越す変化が見られるが、これは異常隆起によるものと思われる。

#### 参 考 文 献

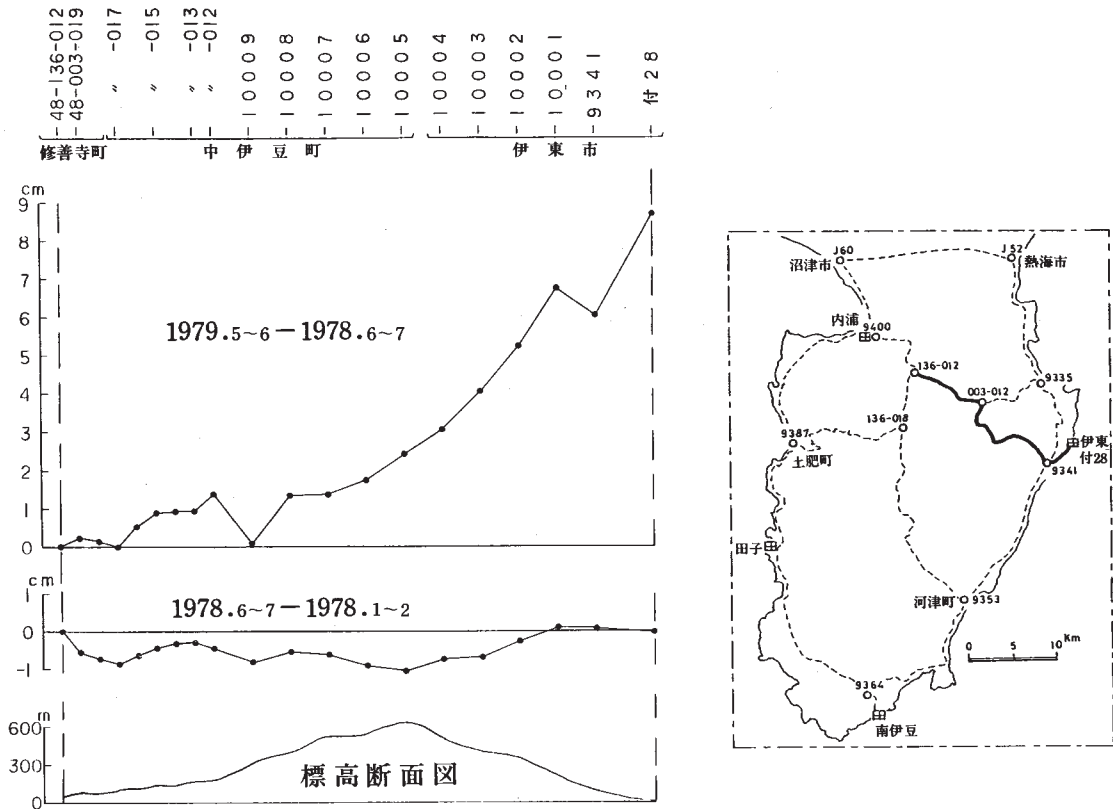
- 1) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島中部の地殻変動，連絡会報，**16**（1976），82 - 87.
- 2) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島中部の地殻変動（2），連絡会報，**17**（1977），59 - 64.
- 3) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島中部の地殻変動（3），連絡会報，**18**（1977），56 - 60.
- 4) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島中部の地殻変動（4），連絡会報，**19**（1978），71 - 75.
- 5) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島における地殻変動，連絡会報，**20**（1978），92 - 99.
- 6) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島における地殻上下変動，連絡会報，**21**（1979），93 - 97.

- 7) 国土地理院地殻調査部：伊豆東部地方の地殻変動，連絡会報，22（1979），68 - 71.
- 8) 国土地理院地殻調査部：伊豆半島中部の地殻変動，連絡会報，22（1979），100 - 103.



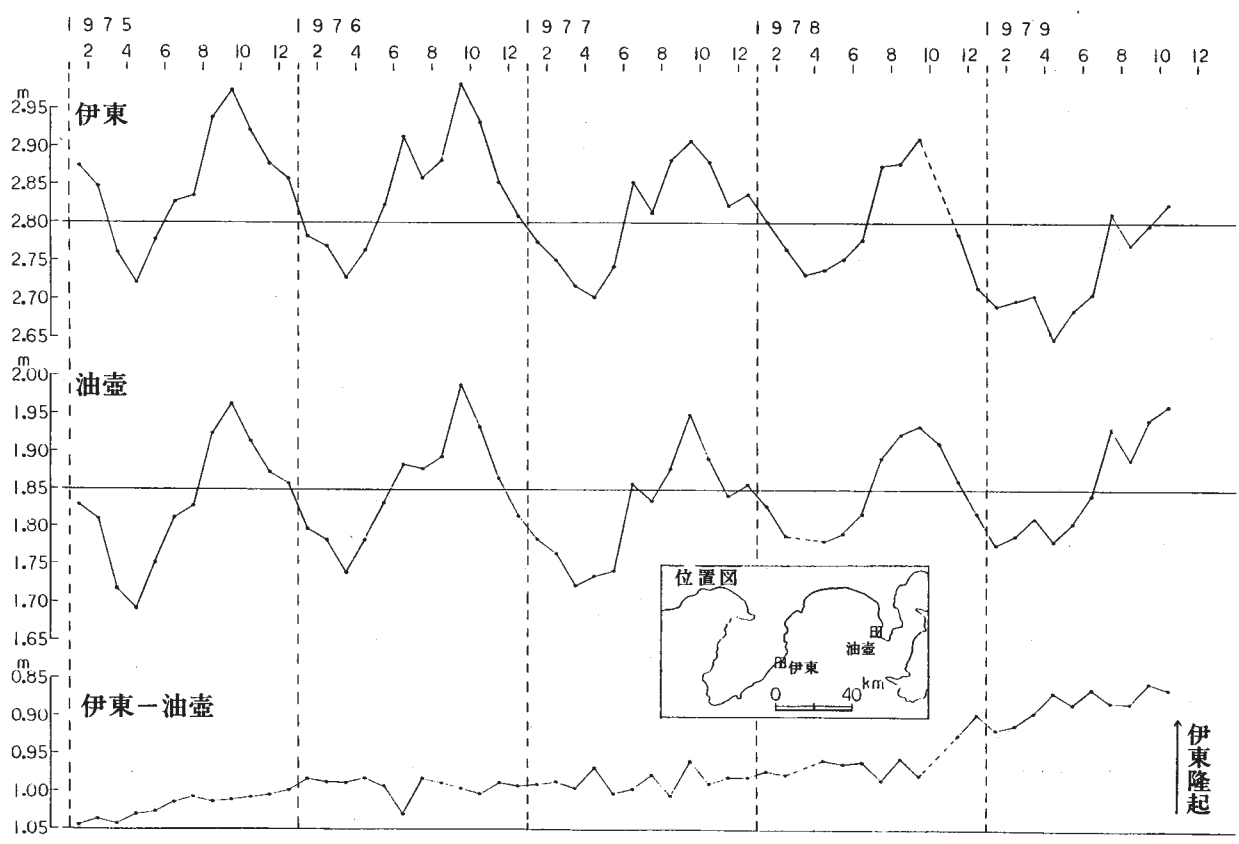
第1図 沼津～天城湯ヶ島～河津間の上下変動

Fig. 1 Vertical movements between Numazu and Kawazu (via Yugashima).



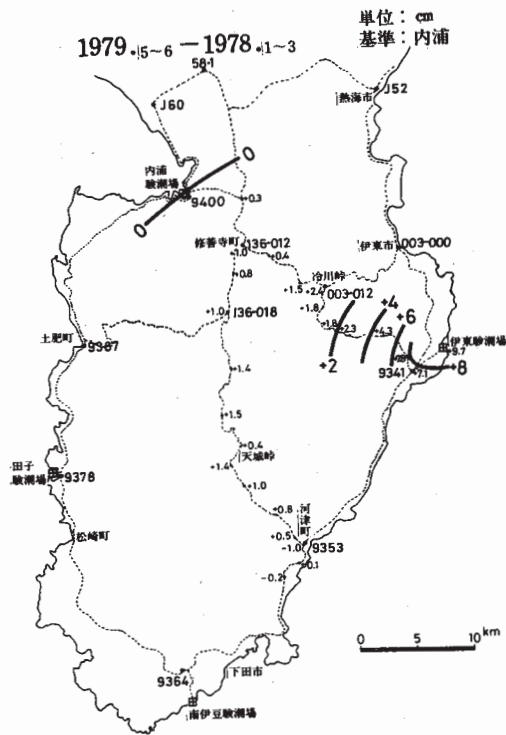
第2図 修善寺～伊東間の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Shuzenji and Ito.



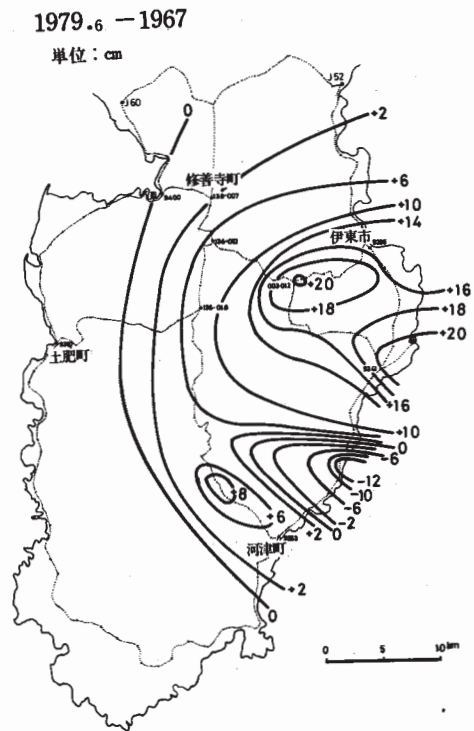
第3図 伊東・油壺験潮場の月平均潮位及び潮位差

Fig. 3 Difference of monthly mean sea levels between tidal stations Ito and Aburatsubo.



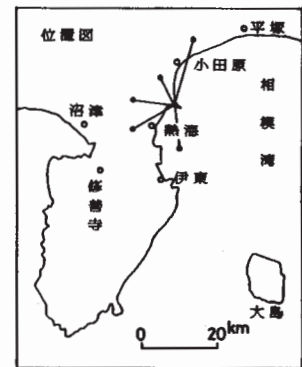
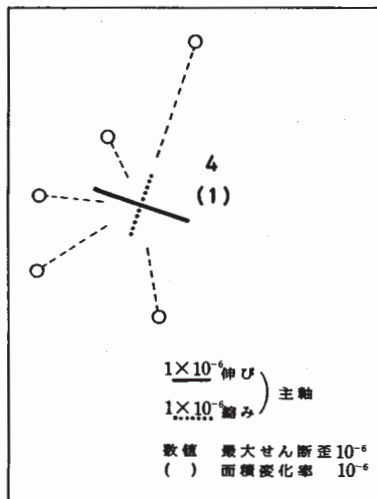
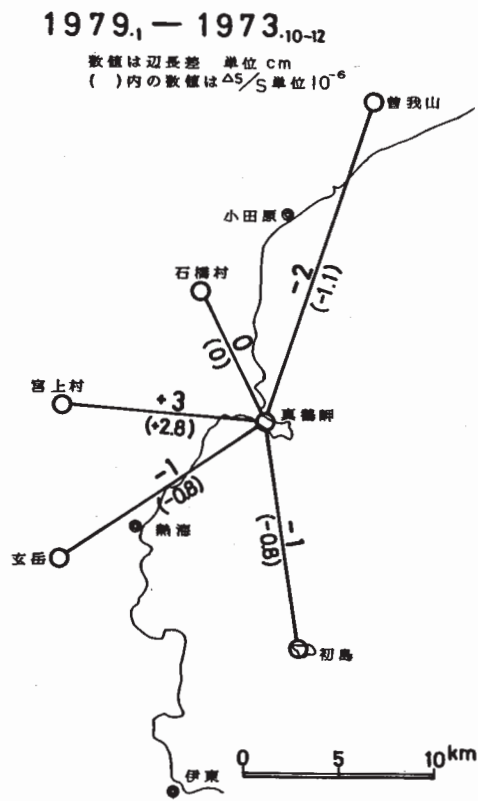
第4図 伊東付近の上下変動

Fig. 4 Vertical movements near Ito tidal station.



第5図 伊豆半島中東部の上下変動図

Fig. 5 Vertical movements in the Middle East District of Izu Peninsula.



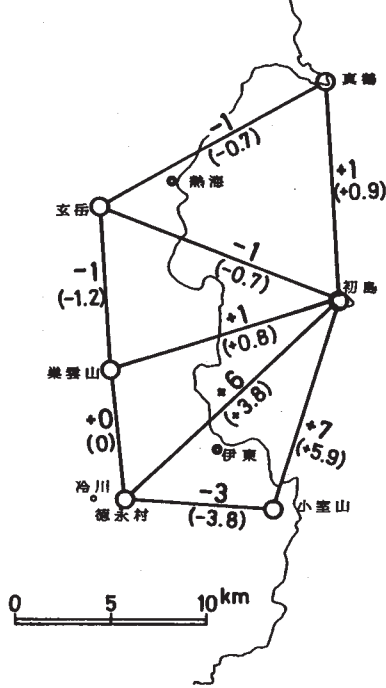
区 間	一次基準点測量 1973.10-12	変歪測量 1979.1	I	II	差 II-I
真鶴岬~曾我山	17896.88	m.86			-0.02
" ~ 石橋村	7893.40	.40			-0.00
" ~ 宮上村	10743.93	.96			+0.03
" ~ 玄岳	13009.01	.00			-0.01
" ~ 初島	11887.21	.20			-0.01

第6図 伊豆北東部地方精密変歪測量結果

Fig. 6 Changes of side lengths at northeast part of Izu peninsula.

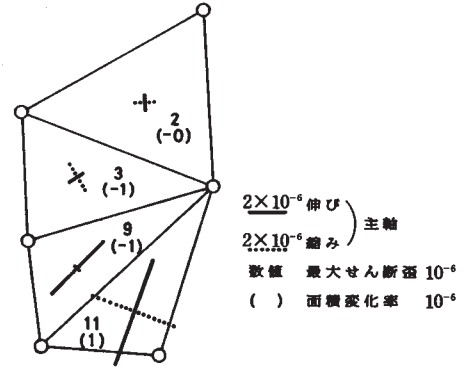
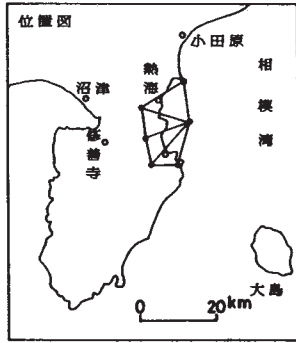
1979<sub>10</sub>-1978<sub>11</sub>

数値は辺長差 単位cm  
( )内の数値は△S/S 単位10<sup>-6</sup>



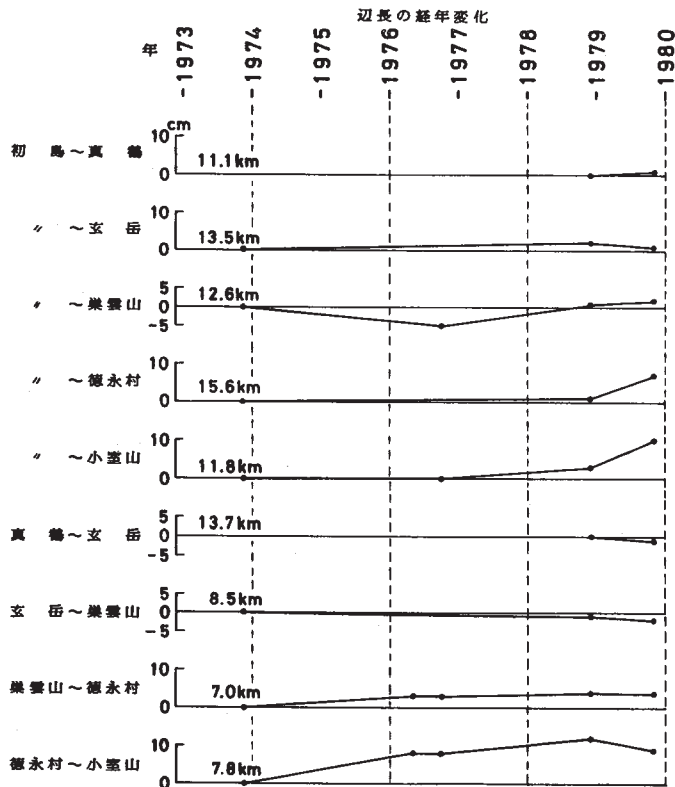
区間	測定年					距離変化			
	1973.10-11	1976.4	1976.8-10	1978.11	1979.10	V-I	V-II	V-III	V-IV
初島~真鶴	11 135.7 <sup>m</sup>			.77	.78	cm	cm		+7
~玄岳	13 497.11			.13	.12	+ /			- /
~樂雲山	12 575.74		.69 <sup>m</sup>	.75	.76	+ 2	+ 7	+ /	
~徳永村	15 602.20			.21	.27	+ 7			+ 6
~小室山	11 790.00		.00	.03	.10	+ / 0	+ / 0		+ 7
真鶴~玄岳	13 692.			.03	.02				- /
玄岳~樂雲山	8 535.89			.88	.87	- 2			- /
樂雲山~徳永村	6 960.34	.37 <sup>m</sup>	.37	.38	.38	+ 4	+ /	+ /	+ 0
徳永村~小室山	7 795.06	.14	.14	.18	.15	+ 9	+ /	+ /	- 3

※ 徳永村~樂雲山 間1973年(I)は、G-8との比較測定による定数を使用。



第7図 伊豆半島東部地方精密変歪測量結果(1) (概算値による)

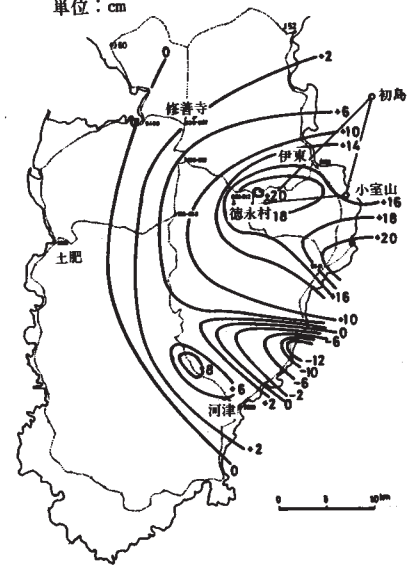
Fig. 7 Secular changes of side lengths in the East part of Izu Peninsula (1) (provisional).



伊豆半島中東部の上下変動図

1979<sub>10</sub>-1967

単位: cm



第8図 伊豆半島東部地方精密変歪測量結果(2)

Fig. 8 Secular changes of side lengths in the East part of Izu peninsula (2).